新潟県 事例紹介

「誰もが旅を楽しめる」観光地域づくり

一般社団法人Accessible Niigata







PROFILE

プロフィール







法人名	一般社団法人Accessible Niigata
代表理事	殖栗　寛倫（ウエグリヒロミチ）
経歴	2017　立命館大学スポーツ健康科学部卒 2018~2022　友人と事業経営に挑戦（一部で車いすバスケットボール・ジュニアバスケットボールチーム運営） 2022　**北海道旭川市で雪国のユニバーサルツーリズムに出会う** 2022～2024　NPO法人石川バリアフリーツアーセンター勤務 2025～現在　一般社団法人Accessible Niigata設立

新潟県のユニバーサルツーリズムを推進するため
柏崎ユニバーサルツーリズムセンター（柏崎UTC）
車いすバスケットボールチーム長岡JETS や
と共に地域の共生社会実現に向け活動中。

VISION

共生社会に向けて











心のバリアフリー教育

観光施設の心のバリアフリー研修

スポーツ体験を通じた障がい理解

共生社会

ユニバーサルツーリズム

パラスポーツ
ユニバーサルスポーツ

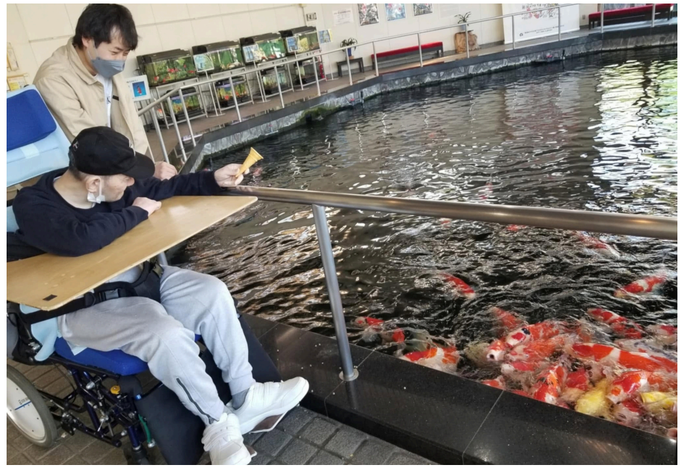
大会・合宿の誘致・開催（体験・交流・消費）





受入環境整備やサービス向上に向けた具体的な取組内容

サポート紹介・柏崎UTCとの連携



旅行サポート

- 旅行相談、車いすの貸し出しや旅のサポートを実施しています。
- 柏崎UTCのジンリキやアクロを活用し、舗装されていない通路や起伏の多い地形、雪原の散策にも対応しています。
- クルーズ船からの海外のお客様へのサポートを実施しました。



海水浴サポート

- 柏崎UTCのビーチスター、ランディースを活用し、砂浜散歩や海水浴サポートをしています。
- 柏崎市を中心に、長岡市や佐渡市はじめ県内対応しています。
- 臨海学校や特別支援学校からの依頼にも対応しています。



花火大会アテンド

- 長岡花火のバリアフリー観覧情報をネットで発信しています。
- 宿泊施設、飲食店、駐車場のご案内をしています。（チケット手配除く）
- 柏崎花火では有料観覧席入り口での車いすの貸し出しはじめバリアフリーサポートを実施しています。

受入環境整備やサービス向上に向けた具体的な取組内容

心のバリアフリー推進

・身体障害者福祉協会や地元大学生とのバリアフリー調査や講座の実施。
・新潟市でユニバーサルツーリズムセミナーを開催。（新潟市との連携）
・教育現場やスポーツを通じたバリアフリーへの理解醸成を実施。
・宿泊施設や飲食店に心のバリアフリー認定の取得サポートを実施。認定取得施設をHPで発信。

利用者や地域への効果、成果

・HP訪問者数1200人内、半数が長岡花火のBF情報を閲覧。（5～8月）
・市及び観光協会HPとの情報リンクにより問合せ増。
・佐渡特別支援学校や群馬県伊勢崎市臨海学校での海水浴サポートが実現。
・旅サポーターの養成、観光ガイド向け研修（糸魚川・津南・出雲崎町）

旅行者にとってのバリアフリーな地域
→地域に相談できる人がいて
サポート体制・情報アクセスがつながっている状態。







課題と展望　事例紹介

心のバリアフリー認定施設は増えてきていますが、
その地域のホテルや店舗、移動手段、トイレなど必要なバリアフリー情報を整理し、面的に発信・PRまで継続できる仕組みづくりが必要です。

旅を安心して実現するために必要な情報と、入浴介助等の支援体制を、自治体との連携で、観光案内所が利用できる情報共有やバリアフリーマップの作成までできると心強いと考えています。

柏崎ユニバーサルツーリズムセンター（柏崎市）
・・・県外旅行同行や県内旅行会社と福祉旅行の実施

北信越ラボ・フルサット（上越市）
・・・WHILL貸し出しサービスを展開、現場検証で連携

NPO雪のふるさと安塚・キューピットバレイスキー場（上越市）
・・・スキーはじめ野外活動を楽しむコンテンツを展開



柏崎市利用者と静岡観光


上越市　やなぎばひまわりイベントサポート


2026年（令和8年） 9月13日（日曜日） 社会 （14）
伊勢崎の医療的ケア児2人
新潟・臨海学校でNPOが支援
仲間と一緒に海水浴
上毛新聞


フルサット（上越）
電動車いすで気軽な旅
レンタルサービス開始
歩行への不安解消
地域ビジネス Local Business
新潟日報